

普及センター  
チーム紹介

# 花き振興チーム

盛岡地域特産花きであるゆり、カーネーション、ストック、トルコギキョウ、や全県の共通品目であるりんどうと小ぎくの安定生産のため、指導会や巡視会の支援や、病害虫防除指導などを行っています。

今年度は、オオタバコガやカスミカメムシ類といった害虫の発生予察調査と、天敵を活用したハダニ類防除や、エスレルを活用した小ぎくの開花調節、ストックの品種比較と開花促進剤の効果実証、りんどうの有望系統の現地適応性実証などを行っています。



指導会の様子・・・



## 「実証ほ」の紹介

花き振興チームからは、「りんどう有望系統の現地適応性」について紹介します！

## 目的

りんどう有望系統の各地域での品種特性を早期に把握し、現地への早期普及を図る。

## 実証内容

平成26年に定植した有望系統4品種を、管内3か所に設置（盛岡市、玉山区、雫石町）し、各地域で2年目の生育調査と開花時期の確認をしています。

供試系統	代替品種
いわて EB-1号 (12-310)	マジエル
12-350	イーハトーヴォ
いわて LB-3号	ジョバンニ
いわて LB-4号	



## 実証結果

系統名	地域	採花盛期※	草丈 (cm)	段数	備考
いわて EB-1号 (12-310)	盛岡	7月3半旬	102.9	5.9	草丈、段数とも十分に取れ、頂花は咲きやすい。既存のマジエルと比較して、高温障害出にくく、開花期がやや早い。
	玉山	7月3半旬	90	5.8	
	雫石	7月5半旬	101.3	4.2	
12-350	盛岡	8月1半旬	111.6	4	定植2年目から立茎数が多い（平均19.4本）。軸が細めで、節間が長い。
	玉山	7月6半旬	105.4	4.7	
	雫石	8月2半旬	110.6	5	

※定植2年目の開花期は、3年目以降の開花期よりも早い傾向にあるので注意

今後も引き続きLB-3号、4号の調査を進め、現地に情報提供していきます。  
また、現地適応性の調査は、次年度も継続していきます。

